
ネタ無しオチ無し

神童サーガ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネタ無しオチ無し

【Zコード】

Z4385F

【作者名】

神童サーガ

【あらすじ】

暇な方のみ見てください。ハチャメチャで良く分りません。ギャグのつもりです。

ほぼ擬音で返事をしている。

「ズルズルつ

「おいつー！」

「ジユルジユル」

女の子が、何かをしている。男の子が話しかけるが無視だ。

「何をしてる？」

「寒い日は焙じ茶ですね」

「いや・・・あからさまに、音がおかしいだろーー..」

最後に至っては、ゼリーッぽい。

「ズーズーッ」

「頼むから喋ってくれ・・・話が進まない」

「なんか・・・美味そうに聞こえねー」

「ギュルニユル」

「なんの音だあーー！」

奇妙な音が、部屋中に響く。

「ぶあつへしょーつー！」

「急に、クシヤ!! あんなーー! しかも、爺さんっぽいぞ」

いへり向でもアリだからといって、終わりのない話は止めてください。

「一応コメディだっけ？恋愛じゃないから、俺はコイツが好きなん
て有り得ねー」

「私だつて・・・『フツ・・・好きじゃない・・・と思いたい・・・ぬひよつ」

「むせるな・・・最後はなんだ?」

せつかく良いこと？を言つてゐはすなに、むせたりしてゐせいか、何やらギャグの匂いが・・・。

「「こよほほーー」ぐつーーー。」

「笑つて苦しむな・・・苛めたくなるだろ？」

ウズウズじだした少年・・・。

「つて、名前一度も出てねーーー。」

「・・・あえて出さないでどいろまでいけるか・・・にゅふつ・・・
・・ガンバロウ」

酷いです。名前が考え付かないのは確かだけど。
どこまで、いけるか頑張ります。

「注意書きしたほうが良いな・・・このストーリーはハチャメチャ
で終わる見込みが無いって」

「とある人みたいに飢えた人しか見なかつたら？」

失礼ですね。飢えてはいませんよ。最近は、何があつても楽しく
つて仕方がありませんよ。

「ストーリー性がないよな?」

「・・・ひえっく・・・洒落臭い・・・。」

「急に叫ぶな・・・驚くだろ・・・。」

酔っ払った質の悪いオジサンみたいだ。
お茶で酔つなよ。

「ふつふー・・・実はお茶割りだったんですね」「

「いや・・・純粹なお茶だ。熱があつたり暴走すると酔っ払った風
になるんだコイツ」

ああ、作者みたいですね・・・ってウチー?
ちょっと落ち込みました。

「つて」とは、まともな小説になるのか?」

「作者は異常だから無理じやね?・・・むふふ」

至つて正常です!!失敬な人達だ。作者をからかって楽しいですか?

「樂しいーーー！」

「右に回じーーーって、上に回じー？」

知りませんーーーもう怒りましたーーー
とにかくことで、二人にはコスプレして、その服に似合ひセリフを
言つてもいいーーー

「えーーー」

「いめんなしゃーーーー！」

許しません。さて、少女のコスプレは、際どい悪魔のコスプレで
す。布がないので恥かしいですよ？

「うーーー水着みたいーーーしかも、悪魔の尻尾もあるしーーー
何この槍」

顔を赤らめて、手で身体を押さえ込む。
さあ、悪魔のセリフを言こなさー。

「うーーーあなたの魂を狩つちやうぜ？」

「死神じゃねーかー！」

「うう・・・じゃあ私と魂の取引しない？」

可愛いです。赤い顔で潤田の悪魔・・・。
じゃあ次・・・隠し玉の少年。
ん~コスプレは、やっぱコスロリのメイド服だねー! 猫耳バージ
ョン。

「じょ・・・冗談だろー?」

「あやせまつ・・・ミースカだー! つか、女装じやん」

田を逸らした表情もなんとも・・・。

スカートを必死に下げる姿も可愛い。

「も~。やだ・・・」

「なんか、私より可愛い・・・ムカつく」

男の人って、女装すると綺麗になりやすいよね。なんか羨ましい。
少年も、童顔だからこそ可愛いくなつた。

「「」めん。 もう・・・ギブ」

「やつぱメイドのヤコツハ あれあ・・・、アーマー、アーマー」

どうやら知恵を授けてるようですが。

少年は、首が千切れるんじゃないかといつ位に振つてゐる。
観念した少年は一度、深呼吸をして言つた。

「「」主人様あ・・・お風呂じますか?」「」飯にしますか?・・・
・・それとも・・・・・私にしますか?」

全部はダメですか?良いなあ、顔の良い人は・・・似合つてゐる
が無性に腹が立つ。

まあ、面白いものが見れたので許します。

「一番の腹黒は作者だ!」

「『FF』・・・確かに・・・悲しいです」

まあ、全ではウチが楽しめれば良いんです。だって、血口満足小
説ですし?

まあ、やり過ぎたのは反省しますが。

「めんなさいね、少年少女よ・・・以前も出でこないで、いつか、
また暴走したら止めて出て来てください。」

「俺、もう嫌だ・・・コスプレなんて・・・自分が壊れそうだ」

「新たな道へ行くの!?!?」

「いかねーよ!?!?」

(後書き)

ちょっと、鬱憤をひいてかしたいから作って面白満足小説です。 キヤリ達を自由に出来るのは楽しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4385f/>

ネタ無しオチ無し

2011年1月15日21時57分発行